



大森六中だより

令和2年 11月号
大田区立大森第六中学校
校長 松尾 廣文
TEL 3726-7155

朝礼講話「スポーツ大会の成功とオリ・パラ」

11月2日



先週の月曜日は、皆さんの協力で、スポーツ大会を行うことができました。楽しそうに競技に励む姿を眺め、本当に嬉しく思いました。

コロナ禍で多くの行事が中止になっている中で、3年生が中心となり、競技を工夫し、運動会の代替大会を開催できたことは、とても意義のあることであったと思います。

来年に延期した東京2020オリンピック・パラリンピックに関しても、IOCは、60項目にわたる見直しを図り、今後が不透明な状況の中で開催できる方法を模索しているそうです。

スポーツ大会を自らの企画で成し終えた皆さんの姿に、話は大きくなりますが、オリンピック・パラリンピックに通じるものを感じた次第です。



この先も、皆さんの長い人生の中で、世界や国内情勢の変化、人生の転機があるかも知れませんが、常に、前向きな姿勢で打開していくことが、持続可能な社会の担い手としては、重要だと思います。

このスポーツ大会を見て、私が感じた点です。運営に携わった方たち、頑張っ

た皆さんに感謝と敬意を表したいと思います。

そして、例年の運動会に変わらず、立派な応援幕を製作してくれた美術部の生徒にも、感謝を申し上げます。

さて、オリンピック・パラリンピックのお話をもう少し続けます。今年の大会は来年に延期ですが、過去、中止になったオリンピックが5回あります。

それはいずれも戦争によるものです。その中には、日本開催が決定していたオリンピックも含まれています。

戦前の東京でのオリンピックの開催は、1936年（昭和11年）にIOCで決定しましたが、日中戦争等の影響から、1938年（昭和13年）に日本は、中止を決定しました。

実施されていたら、当時は、夏季、冬季同時開催でしたので、東京と札幌で行われる予定だったのですが、残念なことに、幻のオリンピックとなってしまいました。

現在は、コロナ禍ですが、戦争は、歴史の中で、人間の命のみならず文化さえも断ち切ってきました。

来週は、六中平和の日を迎えます。

今年のテーマは、「オリンピックと平和」。

戦争に翻弄されたオリンピックの歴史を係りの生徒が入念に調べ、発表に向けて、準備をしてくれています。

平和であることの大切さを考える週になるよう期待しています。

スポーツ大会

予定していた日は、あいにくの空模様でしたが、明けて10月26日、生徒主催によるスポーツ大会が行われました。青空の下、クラス、学年の垣根を越えて、スポーツに親しむことができました。

今回のスローガンは「勝諦無（ショータイム）」。コロナ下で、開催に向け、諦めず形にしてきた実行委員。それを支えた全校生徒。スポーツを通じて大きく成長し、大きな勝ちを得られた1日になりました。



美術部作



借り人競争（3年生）



借り人競争（2年生）



借り人競争（1年生）



部活対抗リレー



部活対抗リレー

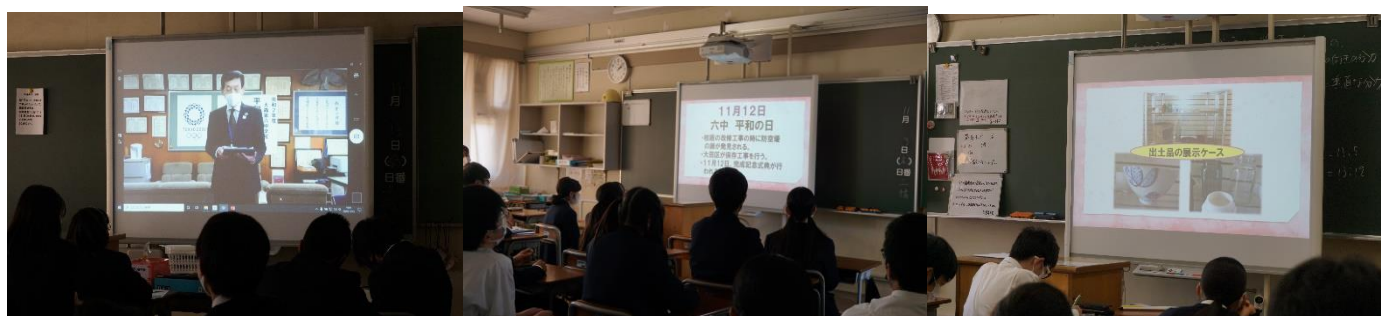


学級対抗リレー



平和を考える会

11月13日（金）に「平和を考える会」を行いました。これは11月12日の『六中平和の日』の近くで毎年行われています。今年度は『オリンピックと平和』というテーマでパワーポイントを用いてリモートでの発表となりました。六中にある防空壕の紹介、現在も世界で起きている紛争・テロ、戦争によるオリンピックの陰の部分、オリンピックの起源、オリンピックが世界平和に貢献していることなど、各学年の代表生徒が時間をかけ丁寧に調べ、分かりやすく説明しました。例年は全校で歌っている六中平和の歌は3100が事前に収録したものを鑑賞しました。発表終了後は、各クラスで平和宣言を記入しました。この平和宣言は後日昇降口に掲示されます。



教室で真剣にリモートによる発表を聞いています。



校長室では発表者達が緊張しながら原稿を読んでいます。

調べ学習からパワーポイント作成、発表練習と何度も休み時間や放課後に集まりました。



平和の会 発表者



3100 による「六中平和の歌」

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

ホタルが来ました

ホタルの1齢幼虫を400匹、今年も横浜ホタルの会会長様からいただきました。これから8ヶ月間校舎内で飼育し、来年6月に洗足池水生植物園に放流します。



毎日職員室前、昼休みに水槽の水替え、えさはカワニナを与えています。カワニナの飼育も注意が必要で、洗足池に生息するカワニナをえさとしていますが、自然環境と違いカワニナを飼育することも困難です。

自然科学部では、ホタルが生息できる環境を保持するために、水質改善のための水生植物筏を設置しています。今年度は設置作業をコロナの影響で本校の活動として行うことができませんでした。洗足風致協会の方が設置していただいた筏を、冬の間、撤去します。撤去作業は、12月3日、自然科学部が行います。伸びきったキショウブを刈り込み、来年まで寝かしておきます。

来年の春こそ、ホタル放流式（今年度も小規模で行いました）と共に、筏設置作業ができるようになってを願います。

樹木プレート設置完了！

およそ1ヶ月かけて樹木プレート設置作業が終了しました。樹木選定から、プレートのレタリング、色塗り、設置作業と、多くの生徒が関わり、校庭の樹木に色とりどりの名札が下がり、地域の

方にも関心を寄せられるものができあがりした。

特に盛り上がったのが、色塗り作業で、3年生が思いで作りにプレートの裏に名前やペンネームを書き込み、「卒業後見に来ようね」と口々に話しながら作業している様子はとても楽しそうでした。

最後の設置作業は日が暮れるのが早くなっているため暗くなってしまわないか心配しましたが、みんなで協力し3年生のリーダーシップで、陽の明るい内に作業が終了しました。

